

フローリスト養成カリキュラム

- フローリストとして活動出来るよう、基礎からショップアイテム、ブライダルを修得又は、労働省フラワー装飾士(国家資格)、社団法人日本フラワーデザイナー協会(NFD)資格を目指すカリキュラムを自由に選択していくシステムです。
- ご自身の目的と現在のレベルにあわせ受講コースを選択して頂けます。詳しくはフローチャートをご覧ください。
- 国家資格 フラワー装飾技能士試験、NFD資格に対応できるカリキュラムになっていますので資格取得が可能です。
- 初心者の方: A 基礎 (プロ養成コース)から受講下さい。
- 経験者の方: レベルチェック<レベルチェックテスト(¥5,750 花束 45分&ドームアレンジ 40分)>の後、どのコースから受講するかをご相談により選択して頂きます。

< 受講内容 >

A 基礎(プロ養成) | 花の水揚げ、器のベース構成から基本のテクニックを学ぶ

- ◆ プロ養成コース基礎 (10単位)・・・アレンジ(一点集中)の基本と花束2種
アレンジ・・・ドーム、水平、パーティカル、トライアングラー 各2回
花束・・・スパイラルとギフト花束
- ◆ プロ養成コース基礎 (10単位)・・・ヨーロッパスタイルのアレンジと基本花束
アレンジ・・・並行アレンジ、構造的、線のアレンジ、パーティカル<応用>など
花束・・・スパイラル、花嫁の花束(ブーケホルダーを使ったラウンドブーケ)

B ブライダル | ブライダル装飾フラワーの基礎から応用まで

- ◆ ブライダル [会場演出](8単位)・・・テーブルフラワー、メインテーブル、トーチフラワーなど
- ◆ ブライダル [ブーケ初級](8単位)・・・基本的なブーケの制作
- ◆ ブライダル [ブーケ中級](8単位)・・・特殊な花のブーケの制作
- ◆ ブライダル [ブーケ上級](8単位)・・・オリジナルデザインブーケ

C パリスタイル(ショップアイテム)

パリスタイルの中のアレンジと花束、そのまま商品販売できるアイデアなどを学ぶ(プリザーブドフラワーコースも有)

- ◆ ショップ (10単位)・・・お洒落な色使い・葉使いのアレンジと花束
- ◆ ショップ (10単位)・・・さらに高度なテクニックのアレンジと花束

D フラワー装飾技能士受験対策 | 年1回の試験に合わせた受験対策レッスン【1回4時間】

実力に応じ5回単位でチケット購入が可能です。(1級、2級は10回スタートでその後5回単位にてチケット購入可)

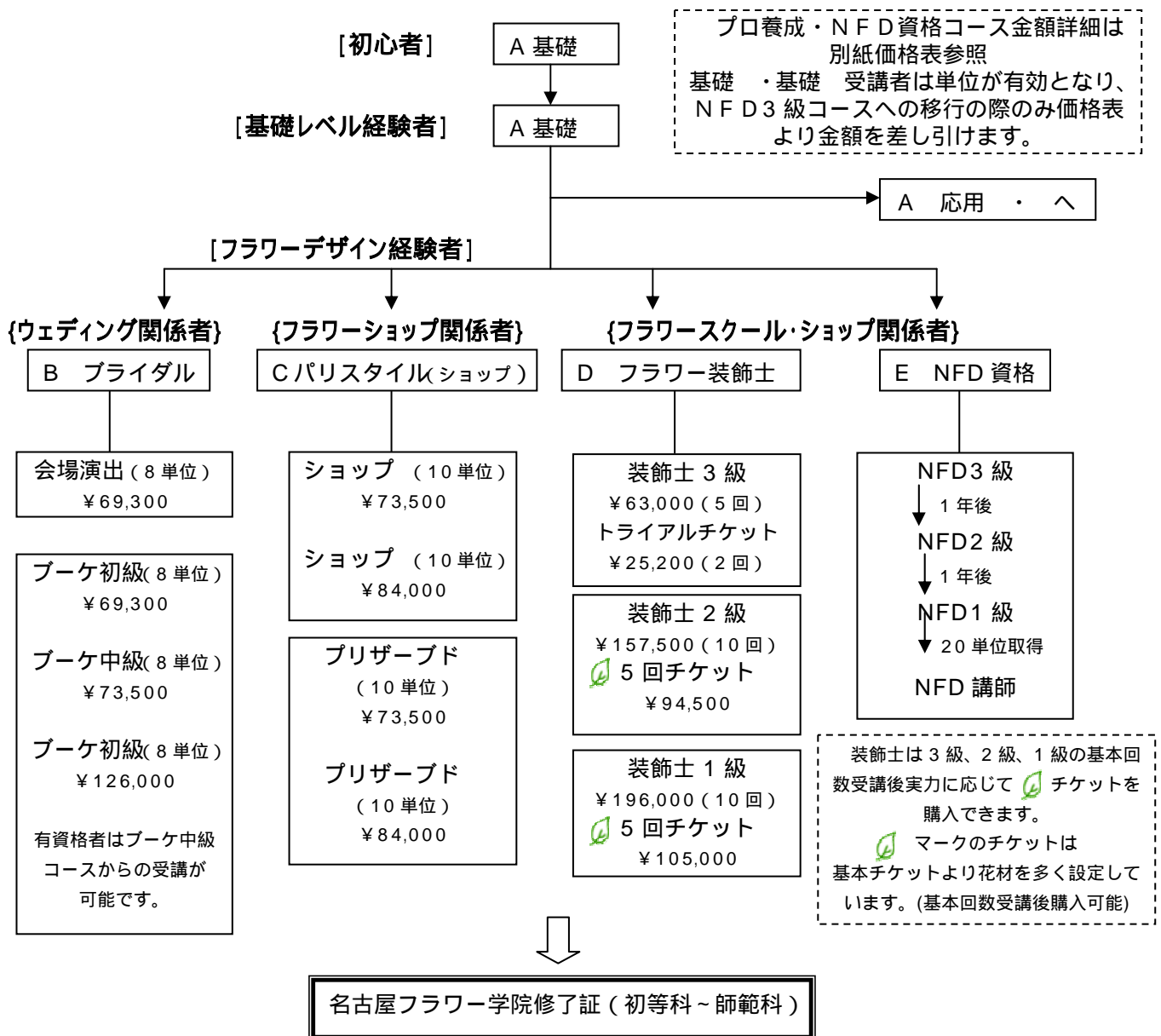
- ◆ 装飾士3級対策(5回)・・・花束・アレンジ・ブートニアの試験対策レッスン
6ヶ月の実務経験で受験が必要です。
- ◆ 装飾士2級対策(10~20回)・・・花束・アレンジ・ブーケ又は籠花の試験対策レッスン
2年の実務経験又は装飾士3級合格後受験が必要です。
- ◆ 装飾士1級対策(10~20回)・・・立食卓上装花、卓上装花、ブーケの試験対策レッスン
7年の実務経験又は装飾士2級合格後2年又は3級合格後4年後受験が必要です。

E NFD3級~1級受験対策

受験にあわせ対策レッスン(受講歴に応じ合計40単位で受験できます。)

フラワー装飾士3級、2級、1級合格者はそれぞれNFD3級、2級、1級の各対応級の受験資格が得られます。

< 目的別フローチャート（生花） >



必要な器、テキスト、消耗品（ワイヤー、フローラルテープなど）、ハサミ、メジャー、剪定ばさみ、ナイフなどは別途（NFD3級コースより受講される場合のみ、器代込）

- A(基礎 又は基礎 及び基礎)を受講されずにBブライダル、Dフラワー装飾士を受講される場合は、最初に課題(花束とアレンジ)のレベルチェックテスト(¥5,750 花束45分&ドームアレンジ40分)を受けて頂きます。その結果によりどこからスタートするかをご相談しながら決めさせていただきます。
- C ショップアイテムコースは、初心者の方からでも受講可能ですが、基礎 程度の基本テクニックを習得されることをお勧めします。
- E NFD 資格コースについては(社)日本フラワーデザイナー協会の規約に基づき、習得単位が必要となります。(装飾士取得者は飛び級受験可能ですが、受験される級の習得単位数は必要となります。)
- 厚生労働省 フラワー装飾技能士試験は 毎年3月上旬公示、4月上旬受験申込となっております。(各自申込)
- 上記金額には受験料、登録料、NFD更新料・年会費などは含まれておりません。



NFD公認校・JPA代表理事校

名古屋フラワー学院
nagoya flower school